

科目名	日本語日本文学入門(講義)		科目ナンバー	CL-JL111		
担当者 (実務経験名)	教授 桐生 直代 講師 藤田 優子 講師 松本 美耶					
履修期	1年 前期			卒業単位	選択 2単位	
免許・資格						
授業概要	この科目は本学の日本語日文学分野の教員によるリレー形式の授業です。 日本語・日本文学を学び、研究するのに必要な知識と姿勢の修得を目的とします。 各分野にはどのような学びの内容及、どのような面白さがあるか、さまざまな観点を知り、興味関心を広げていきましょう。					
到達目標	知識・理解	日本語日文学に関する基礎的知識を修得している。				
	思考・判断	授業で学んだ知識や手法を用いて、調べたり考えたりすることができる。				
	興味・意欲・態度	日本語日文学について興味関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。				
	技能・表現	授業で学んだ内容について、適切な表現を用いて表現することができる。				
授業計画	授業内容			事前事後学習内容		時間 (時間/週)
	1	古典文学入門1 古典文学作品の読み方を学ぶ		【事前】シラバスを読んでくる。【事後】課題を提出する。		4
	2	古典文学入門2 『源氏物語』を読むー物語作品の冒頭ー		【事前】『源氏物語』について調べてくる。【事後】課題を提出する。		4
	3	古典文学入門3 『源氏物語』を読むー「いづれの御時」についてー		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	4	古典文学入門4 『源氏物語』を読むー桐壺の更衣の死ー		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	5	古典文学入門5 『源氏物語』を読むー光源氏の臣籍降下ー		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	6	日本語学入門1「百人一首」を読むー2「春過ぎて…」の解釈		【事前】百人一首について調べてくる。【事後】課題を提出する。		4
	7	日本語学入門2「百人一首」を読むー5「奥山に…」の解釈		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	8	日本語学入門3「百人一首」を読むー7「天の原…」の解釈		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	9	日本語学入門4「百人一首」を読むー35「人はいさ…」の解釈		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	10	日本語学入門5「百人一首」を読むー81「ほととぎす…」の解釈		【事前】配布資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	11	近代文学入門1 森鷗外『舞姫』を読むー作家と作品の関係ー		【事前】シラバスを読んでくる。【事後】課題を提出する。		4
	12	近代文学入門2 森鷗外『舞姫』を読むー同時代批評ー		【事前】配付資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	13	近代文学入門3 森鷗外『舞姫』を読むー語りと視点ー		【事前】配付資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	14	近代文学入門4 森鷗外『舞姫』を読むーナラトロジーー		【事前】配付資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
	15	近代文学入門5 1～4のまとめ		【事前】配付資料を読む。【事後】課題を提出する。		4
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート	○	○	○	○	60%
	課題		○			30%
	実技					
	受講状況・態度 その他()			○		10%
フィードバックの方法	桐生:コメントカードの質問や意見には翌週回答します。課題にはコメントを付けて返却します。 藤田:コメントカードの質問には、翌週の授業で回答します。課題には、コメントをつけて返却します。 松本:コメントペーパーは翌週回答を行い、課題はコメントをつけて返却します。					
教科書	なし。随時プリントを配付します。					
参考書	授業中に紹介します。					
アクティブ・ラーニング	桐生:ペア・グループワークを行うことがあります。 藤田:対面の場合、学生同士の意見交換を行うことがあります。遠隔の場合は、FWJConLineで行います。 松本:可能な範囲で学生同士の意見交換を行うことがあります。					
ICT活用	桐生:FWJConLineを用いて資料の提示・課題の提出・意見交換などを行います。 藤田:FWJConLineを用いて資料の提示・課題の提出・意見交換などを行います。 松本:FWJConLineを用いて資料の提示・課題の提出・意見交換などを行います。					
メッセージ・備考	日本語日文学の豊かな世界を学べる科目です。さまざまな観点を知り、興味関心を広げていきましょう。					
関連科目	□日本語日文学演習 日本語日文学科目					